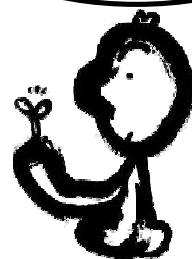


NEWS



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203(サンピア2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

古本市店長のひとりごと

神戸学生青年センターは阪神大震災のときに被災留学生・就学生の支援をしたが、そのとき全国から多くの募金が寄せられた。センター避難所でのぎょうざ/キムチチゲパーティなど、思い出もいっぱいだ。

一段落したとき日本DECという今はなきコンピュータ会社が1千万円くださった。「外国人の支援をしたボランティア団体にさしあげたい」とのことだった。これをあわせて1300万円で六甲奨学基金がスタートした。毎年4～6名のアジアからの留学生・就学生に月額5万円を支給する。返済義務はない。毎年100万円を取り崩したら13年間続く奨学金だ。募金が順調であれば20年ほど続き、不調であれば5、6年で終了するという奨学金だった。この基金の減り具合が予想を上回ったので、古本市を始めることにした。1998年のことだ。

当初、スタッフの間での「30万円も売れば上等だ」という予想を裏切り、147万円を売り上げた。これで、はまってしまった。今年の古本市は第11回目。記録更新はならなかったが60日間で307万円の売り上げだった。古本は全国から送っていただく。また地元の方は古本を持参して新しい古本を買って帰ってくださる。定価は、文庫・新書・児童書・漫画が100円、一般単行本が300円とシンプルなものだ。最初の年、いくらなんでも300円で売るのはもったいないという本を古本屋に持って行って売ったりしていたが、最近はしていない。それが目当てで来てくださる方もいるからである。初日の3月15日は、古本屋さんも来る。絶版の岩波新書を大量に購入したり、ボランティアがあけるダンボール箱にずっと注目したりしている。その1日で30万円も売れるのでびっくりする。

この古本市、もうやめられない。次回は、2009年3月15日から5月15日。本の回収は、3月1日から31日。みなさん、是非、是非、今から古本提供のご準備をよろしく。しみん基金 KOBÉ ももちろんよろしく願います。

しみん基金 KOBÉ・理事
(財)神戸学生青年センター (<http://ksyc.jp/>)・館長
飛田雄一

主な目次

- | | | | |
|---------------------------|---|--------------------------------|---|
| ◆ 平成 20 年度定時総会報告----- | 2 | ◆ コラム「市民社会を支えるお金の流れを考える」(2) -- | 7 |
| ◆ 平成 19 年度助成事業成果報告会 ----- | 3 | ◆ しみん基金 KOBÉ 活動報告 ----- | 7 |
| ◆ 平成 20 年度助成事業のお知らせ ----- | 5 | ◆ 13 年目のひとり言----- | 8 |
| ◆ ぼたんの会・夜会6のご報告----- | 6 | ◆ 会員数と寄付のご報告 ----- | 8 |

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ 平成20年度定時総会報告

去る 5 月 30 日(金) 16:00 より、コムスタこうべ 403 号室にて平成 20 年度定時総会を開催し、平成 19 年度事業報告並びに決算報告、平成 20 年度事業計画並びに予算計画、任期満了に伴う役員改選について審議し承認されました。ご出席いただきました正会員の方々に感謝いたします。要点は以下のとおりです。

平成 19 年度事業報告並びに決算報告

昨年度の助成事業では、「草の根支援」という当基金のテーマを具現化した少額枠を設定、最終的には 14 団体に総額 310.1 万円の助成金を交付しました。一昨年度のような大口寄付がなく、単年度では赤字決算となりました。

平成 19 年度収支決算(概要)

< 経常収支の部 >	
【経常収入】	3,144,145
事業収入	0
会費収入	628,000
寄付金・募金収入	2,355,507
その他の収入	160,638
【経常支出】	6,405,972
事業費(助成事業)	3,241,108
管理費	3,164,864
経常収支差額	-3,261,827
【その他資金支出】	1,660
当期収支差額	- 3,263,487
前期繰越収支差額	19,388,804
次期繰越収支差額	16,125,317
< 正味財産増減の部 >	
【正味財産増加の部】	25,117
【正味財産減少の部】	3,343,487
当期正味財産増加額	-3,318,370
前期繰越正味財産額	44,806,507
当期正味財産合計	41,488,147

平成 20 年度事業計画並びに予算計画

今年度の助成事業は、高野山真言宗からの寄付金に基づき、総額 400 万円で実施する予定です。さらなる情報発信と運営基盤の強化及び認定 NPO 法人格取得にむけて取り組む予定にしています。

平成 20 年度事業計画(概要)

- | |
|--|
| 1 寄付受入・募金活動 |
| ア) 直接寄付(指定寄付、冠基金等) |
| イ) イベント募金(ぼたんの会等) |
| ウ) 職域募金(あじさい基金) |
| エ) 協働企画寄付システム(リサイクル寄付事業等) |
| 2 助成事業 |
| ア) 本体助成事業 |
| イ) はぁ～とふるふぁんど「ひょうごボランティアあしすと」支援事業(=受託事業) |
| 3 運営管理業務 |
| ア) 広報(ホームページ、ニュースレター等) |
| イ) 文書管理(定款改訂・規程類策定)・情報環境整備 |
| ウ) ネットワーク活動・事業化研究・スタッフ研修 |
| エ) 認定 NPO 法人格取得 |

平成 20 年度収支予算(概要)

【経常収入】	7,910,000
会費収入	800,000
寄付金・募金収入	6,950,000
その他の収入	160,000
【経常支出】	7,900,000
事業費	4,180,000
管理費	3,720,000
経常収支差額	10,000

任期満了に伴う役員改選

今年度より以下の皆さんに役員を務めて頂きます。任期は 2 年間です。

- | | | | |
|------|--------|------------|------|
| 理事長 | 黒田裕子 | 理事 | 飛田雄一 |
| 副理事長 | 村井雅清 | 理事 | 吉本悦 |
| 副理事長 | 西正興 | 監事 | 佐藤庸安 |
| 専務理事 | 瀬戸口仁三郎 | 監事 | 森田拓也 |
| 常務理事 | 野崎隆一 | (以上の方は、再任) | |
| 理事 | 渥美公秀 | 理事 | 石本章宏 |
| 理事 | 戎正晴 | 理事 | 大谷敦子 |
| 理事 | 奥井秀樹 | 理事 | 室崎益輝 |
| 理事 | 佐藤典久 | (以上の方は、新任) | |


平成19年度助成事業成果報告会のご報告


5月30日(金)17:00から、定時総会に引き続き昨年度助成事業の締めくくりとして助成先団体による成果報告会を開催しました。これは、各団体の事業によって得られた社会的な成果を、寄付提供者や審査のプロセスにご協力いただいた皆さんと共有する、市民活動など民間による公益的活動を市民自らの力で支えることの大切さを分かち合い、今後に向けて改善すべきポイントを導き出す、ということをお願いしています。




各団体の事業による成果とメッセージの概要は以下のとおりです。当基金へご寄付を頂きました皆さま方及び当基金の運営を支えていただいている会員の方々のおかげで、このような地域における暖かい活動の輪を広げることができましたことに、改めて心より感謝申し上げます。


助成先団体の事業成果（概要）とメッセージ（抜粋）～ご寄付はこのように活用されました。


やまとボランティア	灘区
<事業名> 高齢者・障害者・子育て支援事業	少額枠
	<p><事業の成果> ふれあい喫茶、仮説住民との交流会、復興住宅への安否確認のための友愛訪問などを定期的開催することができ、小さい活動だが地域住民の交流の輪を広げることができた。また、これまでの活動を評価していただき、地域の中の子育て支援活動も行い、世代を超えた交流の場を持つことになった。</p>
<p><メッセージ> 震災から13年、被災者の方々の年齢も重なり、支援活動の幅も広げることができました。今後とも、もどることのない時計の針を大切に続けていきたいと思えます。</p>	


(特)ArtProduce&Management Network	西区
<事業名> K-EN プロデュース in Sonic Hall	少額枠
	<p><事業の成果> 学校という枠を超えた高校生自身によるイベント作りという文化・表現活動を通して、自らを支える地域社会の人々と交流し、舞台技術やイベント企画力を学び身につけ、地域社会の一員として自覚を持った「頼れる若者」を社会に送り出すことができた。</p>
<p><メッセージ> 参加した高校生たちが、さまざまな人々や社会からの支援を受けて育ててもらったという意識を持つことが、いつか彼らの「社会に対してできることをしたい」という想いにつながっていくと考えています。</p>	


こどもの家 ひなたぼっこ	中央区
<事業名> 心豊かに楽しい子育て	少額枠
	<p><事業の成果> 24時間託児、病児・病後児保育やさまざまな講習会を通じて、家族が子育てを楽しめる環境づくりを手助けすることができ、また障がいを持った子ども達が遠慮なく出入りできる場所として、地域の中で認識が広がってきた。これらを通して、育児不安の解消、虐待や孤立の予防、障がい等の早期発見のサポートに寄与することができた。</p>
<p><メッセージ> 増え続ける託児の需要に応えられるだけの環境を整えていくことが、今後の課題と考えています。</p>	

和会(なごみかい)	中央区
<事業名> 獅子舞を通じて地域の活性化と青少年の健全育成を支援する	少額枠
	<p><事業の成果> 地元小学校での獅子舞指導を通じて児童たちに伝統文化に触れる機会を提供でき、地域の福祉施設への慰問活動や地域行事での演舞活動を通じて、地域の一員という意識付けを行うことができた。また、地域行事へ参加する住民も増えてきて、日常生活でも住民同士で声を掛け合う雰囲気が出てきた。</p>
<p><メッセージ> 活動を通じて地域住民同士のつながりが強くなることにより、地域全体で青少年を見守る雰囲気が高まってきたと感じることができました。</p>	

こどもコミュニティケア	西区
<事業名> 小規模保育シンポジウムの開催	少額枠
	<p><事業の成果> 認可保育園より小さな規模の保育施設の小規模ならではの取り組みや課題などを、海外の実践事例も含めて相互に紹介しあうことを通じて、多様な保育ニーズに応えていく新たなあり方をさぐり、これまでの保育活動を振り返る機会や相互のネットワークや協働の契機を提供することができた。</p>
<p><メッセージ> 「集団への適応」が目標とされてきた保育を、多様な状況にあわせたものに市民自らの手で変えていく、という気持ちを共有できたことが大きな収穫でした。</p>	

クラフト工房 錦城の園	明石市
<事業名> 食器洗浄機の購入	一般枠
	<p><事業の成果> 補助金では購入が難しかった食器洗浄機を設置することで、手作りの昼食を提供し続けていく上での衛生上の課題を解決することができた。また、何よりもこれまで食器を洗ったことのない人たちも、たわしを持って自分の食べた食器を洗うようになったことが進歩でした。</p>
<p><メッセージ> 機械化＝手仕事の退化ではなく、その面白さを知るために手で洗うことがはじめられた、そんな不思議な体験をすることになりました。どうもありがとうございました。</p>	


兵庫盲ろう者友の会	中央区
<事業名> 盲ろう者への相談・支援事業	一般枠
	<p><事業の成果> 視覚と聴覚の二重の障害を持つ盲ろう者たちが、個別相談やコミュニケーション・リハビリ訓練支援などの活動を通して、少しでも社会参加できるように促進することができた。</p>
<p><メッセージ> 当会で所在確認ができている盲ろう者は、ごく少数で、多くの盲ろう者が孤独を強いられています。今後は、一人でも多くの盲ろう者に同じ障害をもつ仲間や支援するボランティアの人たちがいることを知ってもらい、生きる活力を持っていただきたいと願っています。</p>	


(特)はらっぱ	西宮市
<事業名> コネコネ、ベタベタ、あ～おいしい～ 2.3 才児と親のための食育	一般枠
	<p><事業の成果> 「クッキー作り」、「お餅つき」、「みそ作り」、「パン作り」を通して、遊びとは違う形での親子のコミュニケーションのあり方を提案することができ、また子どもも親もいろいろな人と触れることで地域とのつながりを感じることができた。</p>
<p><メッセージ> みんなで一緒にやった！と感じたことが、他人の子への暖かいまなざしを生み、やがて「こどもはみんなで育てる」という意識が感じられるようになればなあと思いました。</p>	


神戸プラネット	長田区
<事業名> ブラジル移民 100 年記念プレ企画 <映像から見るブラジル移民の現在>	一般枠
	<p><事業の成果> 映像が専門の神戸プラネットとして、地元の既存団体(関西ブラジル人コミュニティ)と共同で企画立案、実施することができたこと自体が成果であった。また、ブラジル移民 100 周年関連企画としては、小さく地味な企画であったが、当事者である年輩方々も含め幅広い参加者を得、広い意味で「移民」と「国」ということを考える契機を提供できた。</p>
<p><メッセージ> この経験を生かして様々な団体に共同を積極的に持ちかけ、映像の専門機関として広がりのある企画を実現したいと思います。</p>	

神戸フリースクール	中央区
<事業名> 歌と踊りと紙芝居・花ひらく親子の広場づくりプロジェクト	一般枠
	<p><事業の成果> 定期的に地域に開かれた楽しいイベントを開催することを通して、フリースクールの意義について理解してくれる人が増えただけでなく、地域の中で子どもと大人がお互いに顔見知りになることで徐々に地域とつながっていくように感じる事ができた。</p>
<p><メッセージ> 地域に支えられ育てられるような「開かれた学校」を目指してはじめた青空スペースでの大人も子供も楽しめる定期的なイベントも半年たって、やっといういい空気が流れ出してきましたので、今後も継続的实施しようと考えています。</p>	

とびまつ森の会	須磨区
<事業名>とびまつ森再生と”里山づくり”	特定枠
	<p><事業の成果> 飛松中学校の学校林とその周辺の森林を地道に調査・整備し、森の中が明るくなった。ピオトープづくり、木橋の設置、自然木工教室や収穫祭などの活動を通して、徐々にではあるが地域住民や子どもたちにも関心が広がり、活動に参加してくれる人が増えてきた。</p>
<p><メッセージ> はじまったばかりの活動に理解と勇気を与えていただいたことに感謝し、今後もこの活動を発展させることですばらしい環境を後世に残し、ホタルの飛び交う里山づくりを続けたいと思います。</p>	

雌岡山梅林を育てる会	三木市
<事業名> 雌岡山梅林の管理育成	特定枠
	<p><事業の成果> 放置されてきた梅林を復活させるために、草刈・剪定・苗木植えなどの作業を行うための、道具や材料などの基盤を整備することができ、また最近では活動自体に活気が出てきて、新しい人が増えてきた。今年の2月には、「神戸らしい眺望景観10選」にも選ばれた。</p>
<p><メッセージ> 今回の評価で「私たちの活動も世の中に役に立っているんだ」という確かな感覚を各自が持てたという大きな心の贈り物を頂きました。本当にありがとうございました。</p>	

(特)アマモ種子バンク	西宮市
<事業名> 子供達に遺したい - 魚がいっぱい泳ぐ海 -	特定枠
	<p><事業の成果> 秋の催し物で子供達にアマモの苗の育成をお願いして半年間育てて頂き、それを回収して、河口ちかくの海のアマモ場へ移植するという活動を通して、育ててくれた子供やその親達が海的环境に思いをめぐらす契機を提供することができた。</p>
<p><メッセージ> 海的环境について報道などを通じてその重要性は理解されてきているので、それを体験を通じて実感環境改善の活動へつながるように考えていきたいと思っています。</p>	

六甲山自然保護センターを活用する会	灘区
<事業名> 市民でつくろう！六甲山上の自然探勝エリア	特定枠
	<p><事業の成果> 対象地の継続的な環境調査活動を通じて、生態系を知る基礎データを蓄積することができた。また、六甲山らしさを活かした「子どもバクレンジャー」等のプログラムを通して、子供達や市民の皆さんに身近な六甲山の自然に対する関心を深めることができた。</p>
<p><メッセージ> 継続的な調査・観察に必要な機材・用具をそろえることができ、今後の様々な活動に活用していくことができるようになりました。ありがとうございました。</p>	

平成20年度しみん基金・こうべ助成事業実施のお知らせ

しみん基金・こうべの助成事業が今年も始まります。地域の中で様々な障壁に立ち向かいながらも、社会的課題の解決に地道に取り組んでいこうとされる市民活動の芽生えを、市民自らの手でお互いに支えあい大切に育てていこうというのが当基金の趣旨です。今年度は高野山真言宗に設けられた「共利群生活動支援基金」からの寄付金により実施いたします。概要とスケジュールの下記の通りで、詳細は7月中旬に当基金のホームページを通じて発表いたします。

概要

助成金総額 400万円
 1事業につき事業費総額の4分の3以内かつ上限50万円。助成総額は300万円まで。(特に事業分野・使用用途の限定はございません。)選考は、原則として書類審査・ヒアリング調査の上、公開審査会でのプレゼンテーションによって決定いたします。
 なお、助成申請額が10万円以下の申請団体で特に当基金の趣旨に合致する案件につきましては、少額枠として助成総額100万円までの範囲内で、書類審査のみで選考することとします。

助成対象

神戸市及びその周辺地域に住所を有する非営利団体(法人格の有無は問いません)
スケジュール
 平成20年7月中旬: 広報告知
 7月22日~8月22日: 応募申請受付期間
 9月~10月: 書類審査・ヒアリング調査
 10月下旬: 公開審査会、覚書締結・助成金交付
 平成20年10月1日~平成21年9月30日:
 助成事業実施期間、中間ヒアリング
 平成21年10月: 最終報告書提出
 11月: 助成事業成果報告会

夜会・ぼたんの会 vol.6

2008年5月22日(木)18:30から北野ガーデンにて、今年で6回目を迎える「夜会・ぼたんの会」が開催いたしました。

今回は、ソプラノ歌手の飯山友子さんや南インド古典舞踏のナオコ・ルクミニーさんらをゲストに迎えて、200名ほどの方々に参会いただき、お洒落な一夜をゆったりと過ごしていただきました。

なお、今回も収益の一部は、ぼたんの会実行委員会を構成する各団体を通じて、市民活動やボランティア活動を支える資金として活用されます。たくさんの方々にご協力・ご参会いただきましたことをここに感謝いたします。



「ぼたんの会」とは、文化を通じて新しい社会貢献(寄付の文化)のスタイル確立を目指して、地域の中で大切な役割を果たすように成長してきたNPO・NGOへのファンドレイジングを目的に結成された協働プロジェクトで、コンサートやパーティーなどを企画・開催し、その収益の一部を市民活動やボランティア活動を支える資金として活用するしくみです。当基金は、「ぼたんの会」実行委員会の事務局を担っています。

構成団体:(特活)市民活動センター神戸、(特活)兵庫県子ども文化振興協会、被災地NGO協働センター、(財)神戸学生青年センター、(特活)神戸まちづくり研究所、(特活)ゆめ風基金、(特活)しみん基金・こうべ、アートサポートセンター神戸、(特活)コミュニティサポートセンター神戸、移住労働者人権裁判基金、公益信託亀井純子基金、(特活)CODE海外災害救援市民センター
「ぼたんの会」実行委員会 代表 黒田裕子 ((特活)しみん基金・こうべ理事長)

< リサイクル寄付のお問い合わせ & ご協力方法 >

古着: オレンジスリフティ TEL 078-858-7090
〒657-0027 神戸市灘区永手町3-1-208
オレンジスリフティ 六甲店

- ・上記ショップへ持参または宅配便にて送付してください。
- ・送付の際は、メモにて「リサイクル寄付」とご記入の上、送料は送り主様にてご負担ください。
- ・お洗濯やクリーニングなど、一般的な処置を済ませただいた上で、あまりに汚れているものや消えないしみのついているものは除いてください。再販売が可能なものと考えていただければ大丈夫です。

家電・音楽機器・パソコン等の電子機器

(株)こうべリサイクルセンター リサイクル寄付事業部
TEL 078-303-6201

〒650-0046 神戸市中央区港島中町1-1-14

- ・上記お問い合わせ先へお電話下さい。「リサイクル寄付」とお伝えください。)
- ・お電話にて、商品がリサイクル品として再販可能かどうか確認させていただきます。
- ・再販可能と判断された場合は、上記のあて先まで宅配便にてご送付下さい。(「リサイクル寄付」と明記ください。送料はご負担いただきますようお願いいたします。)

コラム・市民社会を支えるお金の流れを考える(2)

しみん基金・K O B E事務局長 江口 聡

前回のコラムで標題のことを取り上げるにあたって、3つの立場で要点を整理して書きましたが、今回はそのうち(1)の NPO / NGO やボランティア団体など市民活動側に求められていることについて、もう少し掘り下げてみたいと思います。

前回は、「市民活動団体の活動相関図(図1)」を図示しながら、目前の課題解決の活動(右側)と支援者側への働きかけ、すなわち情報公開や説明責任の活動(左側)の両者をバランスよくマネジメントする力が求められてきています、とまとめました。

多くの市民活動団体の成り立ちは、右側に向けての支援の活動からはじまり、それを支えていくために左側への働きかけもしなければいけないけど、時間がないまま右側の活動に追われているというのが実態だと思います。しかしながら、そうであるならばいつまでたっても、実行している活動の趣旨は第3者に伝わることなく、好きでやっているのだから終わってしまいます。

時間のなかで、効率的に左側への働きかけをする活

動に選ばれている手段のひとつが助成金への申込ということでしょう。取り急ぎ、申請書式に必要な事項を記入して、提出してみて当たるか当たらないかは神のみぞ知る、また、運よく助成金を獲得しても単年度かぎり、来年はまた別の助成金申請に奔走しなければならない、というようなことになっていることが多いのではないのでしょうか。

ある NPO におけるファンドレイジング(資金調達)手法の日米比較調査で結果として出ていたのが、日本ではその手法の1位は圧倒的に上記の助成金申込だったのですが、米国で1番多かったのは支援者との面談だったそうです。すなわち、毎年必ず1回は支援者と(多くの場合は食事を挟みながら)面談して、活動の報告をし、支援者の意見を聴き、活動の改善に生かしていくというプロセスを、米国では大事にしているということだと思います。このプロセスの中で、継続的な支援が可能になり、また新しい支援者を紹介されたりという連鎖が生まれてきている、と分析されていました。

日本の市民活動団体で毎年必ず最低1回は会員と直接面談しているところが、いったいどれくらいあるのでしょうか?最初に記したこれからの時代に求められている市民活動団体のバランスの取れたマネジメント力の基礎のひとつに、この地道な面談活動を実施しているかどうかがある、と私は考えています。

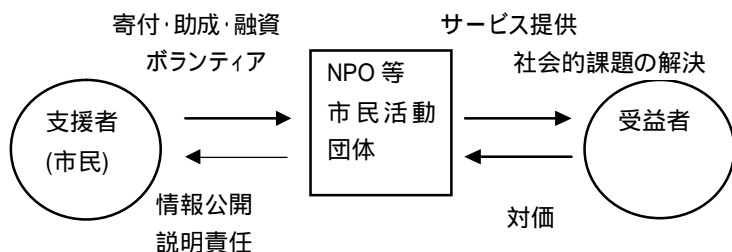


図1 市民活動団体の活動相関図

(つづく)

しみん基金・K O B E の活動報告(2008年4月～2008年6月)

【イベント・講演・研究会等】

4月23日 **NPOのファンドレイジングを考えるつどい**

@大阪 NPO プラザ

主催 (特活)大阪 NPO センター、ビッグイシュー基金、(株)ヘッドジャパン

パネル出演:江口事務局長

4月21日 WAMアドバイザー派遣事業・第2回研究会

@(特活)市民活動センター神戸

4月30日 WAMアドバイザー派遣事業・第3回研究会

@(特活)市民活動センター神戸

5月7日 近畿圏 NPO 支援センター連絡会議

@近畿労働金庫森ノ宮本部

5月16日 **はぁ～とふるファンド「ひょうごボランティアあしすと」支援事業・贈呈式**

@クラウンプラザ神戸

5月22日 **ばたんの会・夜会6** @北野ガーデン

主催 ばたんの会実行委員会 (P6 掲載)

5月26日 WAMアドバイザー派遣事業・第4回研究会

@(特活)市民活動センター神戸

5月30日 **平成19年度助成事業成果報告会**

@コミスタこうべ (P3 掲載)

6月11日 WAMアドバイザー派遣事業・第5回研究会

@(特活)市民活動センター神戸

6月30日 セミナー「iPS 細胞など先端医療をめぐる状況・市民との協働について」

@神戸市役所1号館24F プラットフォーム

主催 先端医療と市民の協働委員会

【会議】

5月13日 **理事会**:定時総会に付議する事項、審査員選任、正会員入退任

5月30日 **定時総会**:平成19年度事業報告及び決算報告、平成20年度事業計画及び予算計画、役員改選 (P2 掲載)



13年目のひとり言
～この国は～



この国は、何を指し、何処へ行こうとしているのだろうか。地球温暖化を含む世界規模の問題を議論する「洞爺湖サミット(G8首脳会議)」が閉幕した。サミット前、期間中の警備は凄まじかった。開催地である北海道は勿論、テロを警戒して東京はじめ主要都市は厳戒態勢、羽田空港や東京の地下鉄では、コインロッカーは閉鎖され、ゴミ箱はことごとく撤去されていた。期間中に上京した友人は、空となったペットボトルを捨てることが出来ず困ったとこぼしていた。それにしても、あれだけの経費をかけてサミットを開催する意味があるのだろうか？サミット景気を当て込んだ地元は、逆に、取り締まりがきつ過ぎて、客が来ず、閑古鳥が鳴いていた。国益という観点から見ても、今回のサミットで得られたものは、殆ど無いと言っても良いだろう。フランス大統領のサルコジ夫人が来なくても、私たちは一向に構わないし、生活に影響はない。

岩手・宮城内陸地震発生から1ヶ月が経った。漸く仮設住宅への入居が始まったが、本格的な復興への道のりはこれからだ。今回の震災は生業被害が大きいと聞いている。生業支援をどのように行っていくのか、財源をどのように手当てしていくのか。国の早急な対処が求められている。避難所生活を続ける人たちへの「心のケア」も欠かせないところだ。あるTV番組で、芸人さんが被災地(避難所)を慰問に訪れるという場面があった。避難所にいた老人が、サミットに訪れた各国首脳のご夫人方が豪華な食事を摂り、また福田首相が歓待している様を見て、ポツリと「福田さんは、また来てくれるのかね～」とこぼされた言葉が耳から離れない。

しみん基金・K O B E 専務理事 瀬戸口仁三郎

会員数とご寄付のご報告

正会員 個人 39名 団体 5名
賛助会員 個人 121名 団体 13名
(2008年6月末現在)

寄付・募金合計金額 4,805,009円

寄付者・募金一覧(敬称略・順不同)

摩耶 はるこ、
(特活) 阪神高齢者障害者支援ネットワーク
バリュー・コマース(株)
柳田 邦男
高野山真言宗

(2008年4月～2008年6月)

皆様に、心よりお礼申し上げます。

次号の予告(2008年11月発行予定)

- ・平成20年度助成事業の結果報告
- ・新理事のご紹介
- ・ぼたんの会・117メモリアルコンサートのご案内

「しみん基金・K O B E」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3,000円
団体会員 年間 10,000円



お申し込みは電話・FAX・メールなどで、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

振込口座 三井住友銀行 三宮支店 普通 7965892
みなと銀行 本店営業部 普通 1597921
近畿ろうきん 神戸支店 普通 4161854
郵便振替 00990-5-157334
口座名義 「しみん基金・こうべ」

あ と が き

今年の当基金の助成事業は高野山真言宗からの寄付で実施されます。一方で、先端医療と市民の協働委員会というのにも関わっていて、先日そのセミナーを開催しました。「お金」と「宗教」と「先端科学」という3つの要素と「市民社会」の実現ということが最終的にどのようにかかわっていくのか、さっぱり見当がつかないのですが、とても興味深い挑戦しがいのある組み合わせだと感じるこのごろです。

(え)